



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1168 2019 年 4 月 22 日

ARIBからのお知らせ

情報通信月間「電波の日記念講演会」開催のお知らせ

ICT の発展は、IoT、ロボット、人工知能 (AI)、ビッグデータなど社会の在り方を大きく変える新たな技術革新へと進展しつつあり、我が国は、これらの技術革新による経済発展と社会的課題の解決を併せて実現する新たな社会、Society 5.0 の構築を目指しています。

その基盤として期待される 5G システムは、超高速大容量、超多数接続、超高信頼・低遅延などの特徴を有し、2020 年の実用サービス開始に向けて本年 4 月には周波数の割り当てが行われるなど着々と準備が進められています。さらに、総務省は、様々な分野での利活用を進めるため一昨年度から実利用を想定した総合実証試験を推進し、最終年度となる本年度は地域課題の解決に力点を置いた実証試験が予定されています。5G や AI は、今後、自動車にも取り込まれ、安心・安全でより快適なコネクティッドカー(Connected Car)の実現へと繋がることでしょう。

放送分野では、昨年 12 月より「新 4K8K 衛星放送」が始まり、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックを各家庭で迫力ある映像で楽しめると期待されているとともに地上デジタル放送の高度化の研究開発が進められております。

このような通信・放送を巡る状況を踏まえ、一般社団法人電波産業会では、情報通信月間推進協議会のご協賛、総務省のご後援のもと、6 月 1 日の電波の日を記念した情報通信月間参加行事として、「電波の日記念講演会」を下記のとおり開催いたします。講演会では、総務省並びに電気通信事業者、放送事業者及び無線機器製造業者の各分野のトップの方々を講師にお迎えして、「電波利用の現状と今後の展望」をテーマにそれぞれのお立場でご講演を頂きます。

ぜひ、ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

記

- 1 日 時 : 2019 年 5 月 27 日 (月) 13:10 から 16:00 まで (開場 12:40)
- 2 開催場所 : 明治記念館 蓬莱の間 (<http://www.meijikinenkan.gr.jp/>)
東京都港区元赤坂 2-2-23 電話:(03) 3403-1171
- 3 実施機関 : 主催 一般社団法人電波産業会
協賛 情報通信月間推進協議会
後援 総務省 (予定)

4 講 師 :

総務省	総合通信基盤局長	谷脇 康彦 氏
楽天モバイル株式会社	代表取締役社長	山田 善久 氏
日本放送協会	専務理事・技師長	児野 昭彦 氏
シャープ株式会社	(調整中)	

5 参 加 者 : 電波利用に関係ある方々及び電波利用に関心のある一般の方々 250 名

6 資 料 : 予稿集 (予定)

7 参 加 費 : 無料 (事前登録制)

8 申込み先 : 当会ホームページの講演会等開催案内よりお申込みください。

4 月 25 日から申込み受付開始予定です。

(<http://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>)

9 問合せ先 : 一般社団法人電波産業会 電波の日記念講演会事務局 増澤、末野

TEL : 03-5510-8592 E-mail : denpanohi2019@arib.or.jp

第167回電波利用懇話会のお知らせ
「北海道胆振東部地震&ブラックアウトにおける
通信・放送サービスについて」

2018 年 9 月 6 日に発生した北海道胆振東部地震では、最大震度 7 の激しい揺れにより大規模な土砂崩れが発生するなどし、42 人の死者と多数の負傷者を出しました。犠牲となられた皆様のご冥福を心よりお祈りするとともに、一日も早い復旧、復興を祈念いたします。

この地震では、北海道内で使用される電気のおよそ半分を供給していた苫東厚真火力発電所が大きな被害を受け、送電を停止するとともに、連鎖的に他の発電所も停止したことから、管内のほぼ全域で電力供給が停止する、いわゆる「ブラックアウト」が発生しました。このブラックアウトと、通信・放送のそれぞれのインフラ設備に発生した被害を合わせて、北海道地区の通信・放送サービスにも多大な影響が出ました。

今回の電波利用懇話会では、電波産業会の OB であり、地震発生当時、北海道総合通信局長の重責を担っておられた藤本昌彦前北海道総合通信局長をお招きして、現地で体験された震災のありさま、ご自身が陣頭指揮された通信・放送分野の復旧、復興作業の実際などをご報告いただくとともに、今後の災害への備えについてもお提言頂きます。

会員の皆様には、是非ともご参加下さいますようにご案内申し上げます。

記

1 日 時 : 2019 年 5 月 24 日 (金) 午後 14 時から 15 時 30 分まで

2 場 所 : 一般社団法人電波産業会 会議室

東京都千代田区霞が関一丁目 4 番 1 号 日土地ビル 11 階

3 題 名 : 北海道胆振東部地震&ブラックアウトにおける通信・放送サービスについて

4 講 師 : 総務省 北海道総合通信局 前局長 藤本 昌彦 様

- 5 参加者 : 70名程度(定員になり次第締め切らせていただきます。)
- 6 申込先 : 当会ホームページの「講演会等開催案内」よりお申込みください。
(<https://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>)
- 7 参加費 : ARIB 正会員、賛助会員は無料、非会員は 5,000 円
- 8 問合せ先 : 企画国際部 電波利用懇話会事務局 辻道
TEL: 03-5510-8592 E-mail: arib-seminar2019@arib.or.jp

テラヘルツ調査研究会－センシング編－への参加募集について

電波産業会(ARIB)では、テラヘルツ波の幅広い利用・応用分野と期待されるアプリケーション、システムを明らかにするとともに、実用化に向けた開発課題、周波数要件、制度課題などを広く調査研究しテラヘルツ波の研究開発と実用化を促進することを目的として、2018 年 2 月にテラヘルツ調査研究会を設置し、先ず、通信分野におけるテラヘルツ波の代表的ユースケースについて必要な技術、周波数要件、法制度課題を明らかにする活動を推進して参りました。

引き続き、2019 年度は、適度な透過性、高分解能、物質固有のスペクトルが多数ある、といった他の周波数帯には無いテラヘルツ波の特色を生かし、センシング分野における代表的ユースケースについて、高スループット化、アンテナのビーム制御技術の確立といった開発課題や、能動センシングに用いる周波数の特定化、テラヘルツの特性に合わせた干渉に関する考え方の整理などの制度課題を明らかにする活動を推進いたします。

現在、このテラヘルツ調査研究会－センシング編－に参加を希望される会員を募集中です。参加を希望される場合には、2019 年 4 月 26 日までに調査研究会事務局宛て、E メールにてご連絡いただきますようお願いいたします。

(テラヘルツ調査研究会事務局 : terahertz_sec@arib.or.jp)

ARIBの動き

第 166 回電波利用懇話会を開催 「テラヘルツセンシング・イメージングの 最新技術開発動向と実用化に向けた近未来展望」

4 月 18 日(木)に、第 166 回電波利用懇話会を当会の会議室にて開催しました。

今回は情報通信研究機構 テラヘルツ研究センター センター長の實迫巖様、情報通信研究機構 電磁波研究所 電磁波応用総合研究室 室長の福永香様、理化学研究所 光量子工学センター テラヘルツイメージング研究チーム チームリーダーの大谷知行様を講師にお迎えし、「テラヘルツセンシング・イメージングの最新技術開発動向と実用化に向けた近未来展望」と題してご講演いただきました。ご講演では、最初に福永様から「実利用が進むテラヘルツイメージング技術」について、次に大谷様から「テラヘルツセンシング・イメージングの近未来展望」

について、最後に寶迫様から「テラヘルツ技術に関わる電波法」についてお話いただきました。

当日は、60名弱の会員の皆様に参加され、熱心にご聴講いただくとともに、電波法の規定とテラヘルツ波の現実との関係、人体への影響、周波数割当に関する議論等について活発な質疑応答が行われました。

なお、講演のプレゼンテーション資料は、当会 Web サイト内「ARIB 会員のページ」の <https://www2.arib.or.jp/aribmem/seminar/konwakai/index.html> において公開予定です。



第 166 回電波利用懇話会の様子と講師の福永様、大谷様、寶迫様

第 14 回 高度無線通信研究委員会を開催

第 14 回 高度無線通信研究委員会(委員長：早稲田大学教授 高畑文雄氏)を開催しました。

- | | | |
|---------|--------------------------|-------------|
| 1 日 程 | : 2019 年 4 月 16 日 (火) | 14:05～15:50 |
| 2 場 所 | : 東海大学校友会館 阿蘇の間(東京都千代田区) | |
| 3 出 席 者 | : 顧問、特別委員、委員(代理、議長委任含む) | 44 名 |
| | : 部会関係 | 9 名 |
| | : 事務局・その他関係者 | 13 名 |

4 議事の概要：

- ・委員長および総務省総合通信基盤局電波部移動通信課長 荻原直彦氏からのご挨拶の後、審議に入りました。
- ・高度無線通信研究委員会の運営見直し案について審議が行われ、全会一致により承認されました。見直しに伴う運営細則の変更については本委員会で承認され、6月25日に開催されるARIB総会での規定変更の審議／承認後に合わせて施行することになりました。
- ・本研究委員会のモバイルパートナーシップ部会、標準化部会およびブロードバンドワイヤレスアクセス部会の各部会の2018年度の活動状況について報告がありました。
- ・3GPP、oneM2M および ITU-R Working Party 5D における最近の活動状況について報告がありました。



挨拶される高畑委員長

5 今後の予定：

6月25日のARIB総会における高度無線通信研究委員会の規定変更の承認後、新体制で運営幹事会を開催予定です。



第14回高度無線通信研究委員会の様子

NAB SHOW 2019 における ARIB/DiBEG 展示及び関連会合等の概要

4月6日から11日にかけて米国ネバダ州ラスベガスのコンベンションセンターにおいて世界最大の放送機器展 NAB SHOW 2019 が NAB(National Association of Broadcasters)の主催で開催されました。

今回は、‘Every story starts here.’の標語の基に、従来の放送技術からネット関連技術との融合を含めた多岐にわたる最新の放送関連技術が展示されていました。各企業の展示ブースでは、ATSC3.0、HDR、4K/8K といった従前の放送関連技術の製品はもとより、クラウド技術を活用した番組制作、ネット利用によるターゲット広告、IP 伝送技術、編集、配信、遠隔制作、AI 技術の活用によるメタデータ付与、字幕作成等の IT 関連技術の製品が多く展示されていました。また、ネットワークでの動画配信を意識した展示が多く、一部 5G を放送技術に

活用する展示も見受けられました。

ARIB のデジタル放送普及活動作業班(ARIB/DiBEG)からは、ISDB-T の国際普及活動等に関するパネル展示やサイネージを利用した緊急警報放送(EWBS)のデモンストレーション等を行いました。



NAB SHOW 2019 の会場の模様



EWBS の展示

10 日には ARIB/DiBEG と SBTVD フォーラムの定期的な意見交換会の第 7 回会合と Future of Broadcast Television(FoBTv)会合の開催があり、両会合に参加しました。

SBTVD フォーラムとの意見交換会では、菅原 DiBEG 議長ら 6 名が参加し、次世代地上デジタル放送に関する情報交換、ARIB 標準とブラジル ABNT 標準との差分を取りまとめた共同文書の更新作業の進捗確認、EWBS に関する日本・ブラジルのラポータグループ活動の課題整理、インターナショナルフォーラムについての情報共有及び放送通信連携サービスのための Hybridcast と Ginga の調和の方法検討について活発な意見交換を行いました。次回会合は本年 8 月にブラジルのサンパウロで開催される放送機器展 (SET EXPO2019) の機会を捉えて行うことが合意されました。

FoBTv は、世界各国の放送事業者、標準化機関等の間で、テレビ放送の将来像について意見・情報交換を行うことを目的として設立された任意団体で、現在、20 か国以上の 85 団体が参加しています。今回の会合は、NAB SHOW 2019 に合わせて開催されたものであり、ATSC、DVB 等の各国の放送事業者、標準化機関から約 30 名の参加があり、日本からは、ARIB、NHK の 6 名が参加しました。会合では、ATSC、DVB、ARIB から各標準化機関団体の活動状況報告及び NHK、韓国の ETRI、ブラジルの TV Globo から放送に関する研究開発動向報告がありました。また、討議項目として 5G の放送応用が取り上げられ、ドイツで実施されている 5G の試験放送が紹介されていました。次回会合は本年 9 月にオランダのアムステルダムで開催される放送機器展(IBC2019)の機会を捉えて行うことが合意されました。



SBTVD フォーラムとの意見交換会の模様



FoBTv 会合の模様

今週の ARIB 内会合（4 月 22 日～4 月 26 日）

- 4 月 22 日（月） 第 18 回 電子タグ作業班
- 4 月 23 日（火） スタジオ音声作業班
- 4 月 23 日（火） 4K8K ファイルフォーマット JTG
- 4 月 24 日（水） 第 43 回 無線 LAN システム開発部会
- 4 月 25 日（木） 音声品質評価法作業班

今週の国際会合（4 月 22 日～4 月 26 日）

参加を予定している会合はありません。

総務省からのお知らせ

新世代モバイル通信システム委員会報告（案）に対する意見募集

【平成 31 年 4 月 18 日発表】

第 5 世代移動通信システム（以下、「5G」という。）は、第 4 世代までの従来のモバイルサービスに対して、超高速、大容量化を実現していることに加え、「超低遅延」「多数同時接続」といった技術革新を実現することで、自動車、医療、建設業、産業機械、スマートメータなどの様々な事業分野における多種多様な新しい通信ニーズに柔軟に対応することにより、我が国の経済を活性化することに加え、地域が抱える様々な社会課題を解決する切り札としても大いに期待されています。

このため、新世代モバイル通信システム委員会では、電気通信事業者による 5G の全国サービスの提供に加え、地域のニーズや多様な産業分野の個別ニーズに応じて、様々な主体が柔軟に構築／利用可能な第 5 世代移動通信システムである「ローカル 5G」について、その基本コンセプトや、免許の基本的な考え方及び技術的条件等の検討を行いました。

今般、新世代モバイル通信システム委員会は、これまで検討を行ってきた内容を、「地域ニーズや個別ニーズに応じて様々な主体が利用可能な第 5 世代移動通信システム（ローカル 5G）の技術的条件等」として委員会報告(案)を取りまとめましたので、平成 31 年 4 月 19 日（金）から同年 5 月 23 日（木）までの間意見募集を行っています。

詳細については [【平成 31 年 4 月 18 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp